

教育プログラム・コースの概要

大学名等	大阪公立大学大学院医学研究科						
教育プログラム・コース名	遺伝性腫瘍および癌ゲノム医療に対応する次世代型外科専門医・研究者養成コース(正規課程)						
対象職種・分野	医師						
修業年限(期間)	3(早期修了)～4年						
養成すべき人材像	腫瘍外科として高度な臨床力および癌ゲノム研究能力を併せ持つ外科医を養成する。腫瘍外科手技の修練と同時に、家族性腫瘍に精通する遺伝性腫瘍専門医を取得し高度な腫瘍医療の臨床力を有する腫瘍外科医を養成する。またバイオインフォマティクス技術者認定を取得し、癌ゲノムのC-CATデータ二次活用による治療解析能力を有する癌外科専門医師を養成する。						
修了要件・履修方法	必修科目および選択科目で計30単位以上を履修し、博士論文審査および最終試験に合格すること。						
履修科目等	<必修科目> 腫瘍学Ⅰ 基盤講義(医療現場・学際領域)(2単位)、腫瘍学Ⅱ 横断講義(予防・研究開発)(2単位)、腫瘍遺伝学外科実習(4単位)、発表表現演習(2単位)、研究指導(8単位)、研究公正B(1単位)、医学研究概論(1単位)、医学研究基本演習(1単位)、医学研究セミナー(1単位) <選択科目> CS演習(1単位)、SP演習(1単位)、がん医療学実習(6単位)、他専門科目						
がんに関する専門資格との連携	がん薬物療法専門医(日本臨床腫瘍学会)、遺伝性腫瘍専門医の研修施設として認定。						
教育内容の特色等 (新規性・独創性等)	腹部腫瘍外科におけるロボット支援手技の修練を行う。また、家族性腫瘍に精通する遺伝性腫瘍専門医および癌ゲノム医療データを用いたバイオインフォマティクス解析を実践できる外科医師の育成は他に類を見ない新規性および独創性の高い教育である。						
指導体制	外科指導医、消化器外科指導医、乳癌専門医による臨床手技指導。 大阪公立大学難治癌TRセンター教員によるゲノム医療、遺伝性腫瘍、癌ゲノムのビッグデータ解析の指導。						
修了者の進路 キャリアパス	外科専門医およびサブスペシャリティ領域の専門医の取得。臨床手技力およびリサーチマインドを兼ね備えた次世代医療に対応する外科医として活躍が期待される。						
受入開始時期	令和6年4月						
受入目標人数	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
	0	1	1	1	1	1	5
受入(養成)目標人数 設定の考え方・根拠	過去の大学院志願者数から毎年度1人の志願者が見込まれるため、受入れ目標人数を5人と設定。						